



2016年1月25日

公立大学法人大阪市立大学

国立研究開発法人防災科学技術研究所

公立大学法人大阪市立大学 都市防災教育研究センターと 国立研究開発法人防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センターは 連携・協力に関する包括連携協定を締結しました

公立大学法人大阪市立大学 都市防災教育研究センターと国立研究開発法人防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センターは、相互の連携を強化し、地域の安全と安心に資する地域密着型の防災・減災教育研究拠点形成に参画することを目的とした包括連携協定を、平成28年1月22日に締結しました。

本協定は、都市を基盤とした「いのちを守る都市づくり」による災害知の社会実装を展開する大阪市立大学都市防災教育研究センターと、三次元震動台として世界最大である実大三次元震動破壊実験施設（E-ディフェンス）を有する防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センターが包括的かつ持続的に連携・協力することで、自然災害に対する防災・減災の教育研究を促進し、地域密着型の防災・減災連携拠点の形成、コミュニティ防災力の強化促進を通して地域の安全と安心に貢献します。また、今後起こりうる巨大複合災害に備え、最新の災害研究、情報技術、都市科学を踏まえた新しいコミュニティ防災システムの確立を目指します。

■本協定に基づく連携・協力内容は以下の通りです。

1. 共同研究、防災・減災教育、人材交流、学術交流等の研究協力に関すること
2. 地域振興に関すること
3. 人材育成に関すること
4. その他両機関が本協定の目的を達成するために必要と認め合意した事項



調印式の様子（平成28年1月22日（金）、大阪市立大学杉本キャンパスにて）

左から、協定書を手にする森 一彦 都市防災教育研究センター所長、
梶原 浩一 防災科学技術研究所 兵庫耐震工学研究センター長

関係者コメント

公立大学法人大阪市立大学 都市防災教育研究センター 所長 森 一彦

東日本大震災をうけて活動を開始した大阪市立大学都市防災教育研究センターは、災害死ゼロの実現を使命としてコミュニティ防災のシステムづくりに取り組んでいます。この度の防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センターとの包括連携協定の締結を生かして、最先端の防災技術を具体的な地域コミュニティに展開し、その防災技術の可能性を追求したいと考えています。

特に、地域の住民や防災リーダー自らが、最先端の科学技術を活用して災害リスクを理解し、主体的に災害対応・環境改善に取り組むための基盤となる「都市防災のシチズンサイエンス」の構築にむけて教育研究を推進していきます。

国立研究開発法人防災科学技術研究所

兵庫耐震工学研究センター長 梶原 浩一

防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センターでは、実大三次元震動破壊実験施設（Eーディフェンス）を用いた地震防災・減災のための実験・研究を推進しています。各方面の防災関係の研究成果を含み、それらの展開では、将来の巨大地震が危惧される地域拠点との連携を推進・強化し、速やかに「実戦」する（地震と戦う）ためのコミュニティの構築が急務です。

この度、大阪市立大学都市防災教育研究センターと包括連携協定を締結することにより、地域の現場ニーズを尊重した新たな研究立案や、成果の社会実装と防災教育での活用に取り組むことが可能となります。更に都市防災教育研究センターの工学を含む横断的な学術分野との連携を進め、新しいコミュニティ構築を志向することで、相乗的な実装効果が期待できる研究・開発の推進を目指していきます。

本件配布先： 大阪科学・大学記者クラブ、
文部科学記者会、科学記者会、筑波研究学園都市記者会、
兵庫県政記者クラブ、三木市政記者クラブ

【本件に関する問い合わせ先】

大阪市立大学都市防災教育研究センター（CERD）事務局 担当：中島、佐原
TEL：06-6605-2902 Email：info@cerd.osaka-cu.ac.jp

国立研究開発法人防災科学技術研究所兵庫耐震工学研究センター 研究支援チーム
TEL：0794-85-8211 FAX：0794-85-7994